

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	約 9 年間（2013年 5 月31日～2022年 5 月20日）	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・アジア・セクターリーダー・エクイティ・ファンド（円クラス）」（以下「セクターリーダー・ファンド」といいます。）の投資証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、セクターリーダー・ファンドの投資証券を通じて、アジア（日本を除きます。以下同じ。）の企業の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）の中から、セクター内で持続的な競争力と成長性を有する銘柄に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおいて、アジアの企業とは、アジアに本社を置いている企業に加えて経済活動をアジアで行なっているアジア以外に本社を置いている企業をいいます。 ②当ファンドは、セクターリーダー・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、セクターリーダー・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③セクターリーダー・ファンドでは、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組 入 制 限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

ダイワ／ミレーアセット・
アジア・セクターリーダー株ファンド

運用報告書(全体版)
第10期
(決算日 2018年 5 月22日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド」は、このたび、第10期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC Asia 指数 (除く日本、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
6 期末 (2016年 5 月23日)	9,373	0	△ 17.5	9,449	△ 17.2	0.3	98.5	9,441
7 期末 (2016年11月22日)	9,879	0	5.4	10,286	8.9	0.0	98.0	7,998
8 期末 (2017年 5 月22日)	10,881	850	18.7	12,285	19.4	0.0	96.8	7,161
9 期末 (2017年11月22日)	13,021	600	25.2	14,517	18.2	—	97.7	7,698
10期末 (2018年 5 月22日)	12,586	0	△ 3.3	14,362	△ 1.1	—	98.7	6,625

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) MSCI AC Asia 指数 (除く日本、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC Asia 指数 (除く日本、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC Asia 指数 (除く日本、米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

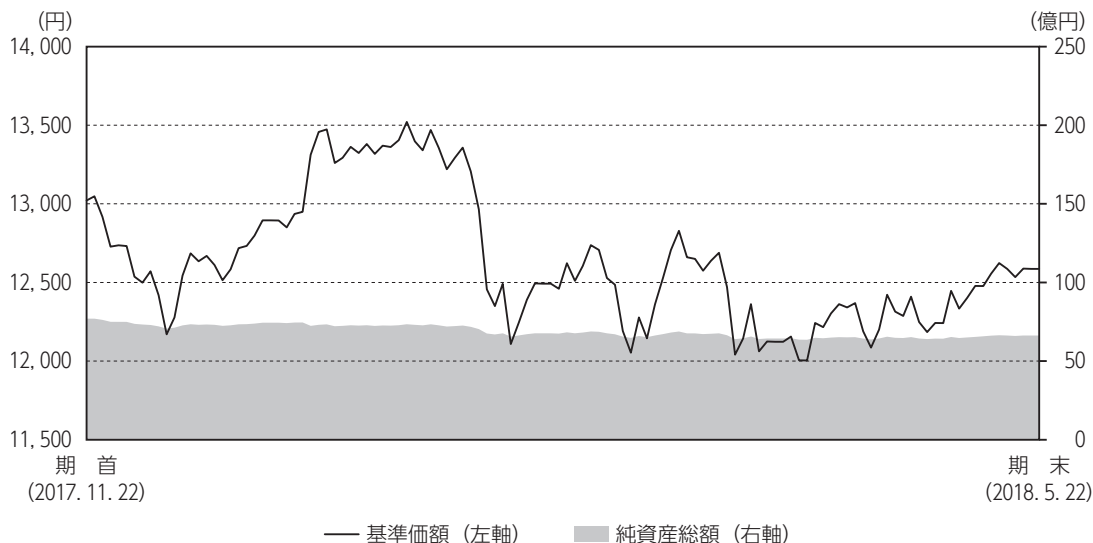
(注 4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：13,021円

期末：12,586円

騰落率：△3.3%

■ 基準価額の主な変動要因

アジア通貨が対円でおおむね下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I A C Asia 指数 (除く日本、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2017年 11月 22日	円 13,021	% —	14,517	% —	% —	% 97.7
11月末	12,732	△ 2.2	14,353	△ 1.1	—	98.2
12月末	12,936	△ 0.7	14,517	△ 0.0	—	98.3
2018年 1 月末	13,220	1.5	15,012	3.4	—	98.9
2 月末	12,707	△ 2.4	14,302	△ 1.5	0.0	98.9
3 月末	12,125	△ 6.9	13,739	△ 5.4	—	99.0
4 月末	12,184	△ 6.4	13,932	△ 4.0	—	99.0
(期末) 2018年 5 月 22日	12,586	△ 3.3	14,362	△ 1.1	—	98.7

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 11. 23 ～ 2018. 5. 22)

■アジア株式市況（除く日本）

アジア株式市況（除く日本、以下同じ。）は、米国の税制改革法案成立への期待から投資家心理が改善したこと、中国の好調な経済統計や原油価格の上昇などが好感され、期首から2018年1月下旬にかけて上昇しました。その後は、米国の雇用統計をきっかけとした長期金利の上昇などから世界的に株式が下落したことを受けて、アジア株式市況も2月中旬にかけて下落しました。期末にかけては、米中の貿易摩擦をめぐる動向などに左右されながら、おおむねボックス圏での推移となりました。

■為替相場

アジア通貨の対円相場は、おおむね下落しました。期首から2018年1月上旬にかけては、株式市場が堅調に推移する中でアジア通貨の対円相場もおおむね堅調に推移しました。しかしその後は、米国の長期金利の上昇を受けた株式市場の下落から投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落基調となりました。

前期における「今後の運用方針」**■当ファンド**

今後も、ミレーアセット・アジア・セクターリーダー・エクイティ・ファンド（円クラス）（以下「セクターリーダー・ファンド」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、セクターリーダー・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■セクターリーダー・ファンド

今後も、すでにセクター内で持続的な競争力と成長性を有しているセクターリーダー銘柄や、将来的にセクターリーダー銘柄になることが有望視される銘柄に投資してまいります。財務体質が堅固で、株価評価面で投資妙味があり、中長期的に持続的な利益成長が期待される銘柄を中心としたポートフォリオを維持してまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 11. 23 ～ 2018. 5. 22)

■当ファンド

当ファンドはセクターリーダー・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。セクターリーダー・ファンドへの投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■セクターリーダー・ファンド

個別銘柄では、パフォーマンスが相対的に良好であった CELLTRION HEALTHCARE（韓国、ヘルスケア）や CSPC PHARMACEUTICAL GROUP（中国、ヘルスケア）などがプラス要因となりました。一方で、パフォーマンスが相対的に軟調であった PING AN INSURANCE（中国、金融）や MANDO（韓国、一般消費財・サービス）などがマイナス要因となりました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

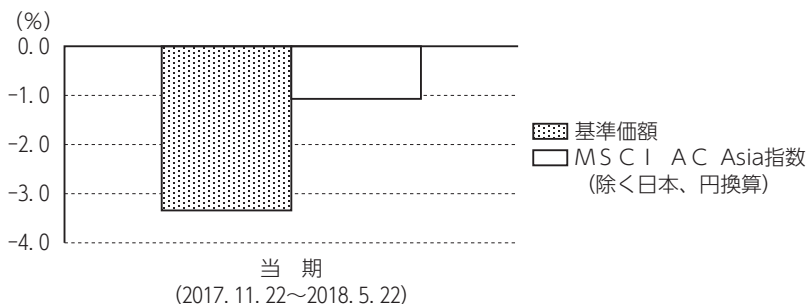
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

参考指数はアジア株式市況（除く日本）の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、アジア通貨の下落などにより基準価額が下落したため、収益の分配を行ないませんでした。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目		当 期
		2017年11月23日 ～2018年5月22日
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,031

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、セクターリーダー・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、セクターリーダー・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■セクターリーダー・ファンド

今後も、すでにセクター内で持続的な競争力と成長性を有しているセクターリーダー銘柄や、将来的にセクターリーダー銘柄になることが有望視される銘柄に投資してまいります。財務体質が強く、株価評価面で投資妙味があり、中長期的に持続的な利益成長が期待される銘柄を中心としたポートフォリオを維持してまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 11. 23～2018. 5. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	80円	0. 632%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12, 630円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0. 187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(54)	(0. 428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	80	0. 636	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注 3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託証券

(2017年11月23日から2018年 5月22日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	262.887	50,000	4,485.25	830,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託証券

(2017年11月23日から2018年 5月22日まで)

当 期				期 付			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
MIRAE ASSET ASIA SECTOR LEADER EQUITY FUND J CLASS (ルクセンブルグ)	262.887	50,000	190	MIRAE ASSET ASIA SECTOR LEADER EQUITY FUND J CLASS (ルクセンブルグ)	4,485.25	830,000	185

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託証券 (ルクセンブルグ) MIRAE ASSET ASIA SECTOR LEADER EQUITY FUND J CLASS	35,562.918	6,539,736	98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	10,009	10,009	10,036

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年 5月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	6,539,736	98.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	10,036	0.2
コール・ローン等、その他	119,339	1.7
投資信託財産総額	6,669,112	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月22日現在	
項 目	当 期 末
(A)資産	6,669,112,346円
コール・ローン等	119,339,339
投資信託証券（評価額）	6,539,736,170
ダイワ・マネースtock・マザーファンド（評価額）	10,036,837
(B)負債	43,937,436
未払信託報酬	43,655,138
その他未払費用	282,298
(C)純資産総額（A－B）	6,625,174,910
元本	5,264,132,582
次期繰越損益金	1,361,042,328
(D)受益権総口数	5,264,132,582口
1万口当り基準価額（C／D）	12,586円

*期首における元本額は5,912,217,594円、当期中における追加設定元本額は235,870,051円、同解約元本額は883,955,063円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は12,586円です。

■損益の状況

当期 自 2017年11月23日 至 2018年5月22日	
項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 30,517円
受取利息	2,217
支払利息	△ 32,734
(B) 有価証券売買損益	△ 180,647,025
売買益	22,209,154
売買損	△ 202,856,179
(C) 信託報酬等	△ 43,940,669
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 224,618,211
(E) 前期繰越損益金	1,300,109,552
(F) 追加信託差損益金	285,550,987
（配当等相当額）	(295,753,975)
（売買損益相当額）	(△ 10,202,988)
(G) 合計（D＋E＋F）	1,361,042,328
次期繰越損益金（G）	1,361,042,328
追加信託差損益金	285,550,987
（配当等相当額）	(295,753,975)
（売買損益相当額）	(△ 10,202,988)
分配準備積立金	1,300,146,609
繰越損益金	△ 224,655,268

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注3）収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	295,753,975
(d) 分配準備積立金	1,300,146,609
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	1,595,900,584
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	1,595,900,584
(h) 受益権総口数	5,264,132,582口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ミレーアセット・アジア・セクターリーダー・エクイティ・ファンド（円クラス）

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド）は、「ミレーアセット・アジア・セクターリーダー・エクイティ・ファンド（円クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2018年5月22日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

純資産計算書（2017年3月31日現在）

	(USD)
営業投資有価証券取得原価	358,913,012
評価益 / (損)	53,296,180
営業投資有価証券時価評価額	412,209,192
現金	5,502,455
未収利息および未収配当金	1,368,601
設定に係る未収入金	374,516
営業投資有価証券売却に係る未収入金	3,201,497
資産合計	422,656,261
当座借越	169,121
解約に係る未払金	885,566
営業投資有価証券購入に係る未払金	5,614,456
未払費用	488,521
外国為替先渡契約の評価損	11,695
負債合計	7,169,359
純資産	415,486,902
I クラス USDシェア 1口当りの純資産	12.34
I クラス EURシェア 1口当りの純資産	9.36
I クラス GBPシェア 1口当りの純資産	8.41
A クラス USDシェア 1口当りの純資産	12.08
A クラス EURシェア 1口当りの純資産	9.71
A クラス EUR Hedgedシェア 1口当りの純資産	9.87
A クラス GBPシェア 1口当りの純資産	8.36
J クラス JPYシェア 1口当りの純資産	143.02
K クラス USDシェア 1口当りの純資産	16.22
R クラス USDシェア 1口当りの純資産	10.05
R クラス EURシェア 1口当りの純資産	9.01
R クラス GBPシェア 1口当りの純資産	8.45
I クラス USDシェアの発行済み口数	14,289,572.722
I クラス EURシェアの発行済み口数	795,798.070
I クラス GBPシェアの発行済み口数	31,057.057
A クラス USDシェアの発行済み口数	2,923,034.689
A クラス EURシェアの発行済み口数	2,581,328.676
A クラス EUR Hedgedシェアの発行済み口数	62,433.330
A クラス GBPシェアの発行済み口数	13,769.852
J クラス JPYシェアの発行済み口数	54,134,956.390
K クラス USDシェアの発行済み口数	465,355.536
R クラス USDシェアの発行済み口数	2,268,227.605
R クラス EURシェアの発行済み口数	41,800.000
R クラス GBPシェアの発行済み口数	6,457,976.242

損益計算書および純資産変動計算書（2017年3月31日に終了した会計期間）

	(U S D)
期首純資産	452, 205, 690
配当金（源泉徴収税控除後）	5, 512, 024
受取利息	425
その他の収益	28, 347
収益合計	5, 540, 796
管理会社報酬	141, 547
運用会社報酬	3, 994, 112
預託手数料	253, 490
監査および弁護士費用	86, 613
管理および会計費用	125, 622
登記および名義書換事務代行費用	87, 818
引受税	93, 833
出版・印刷費	1, 650
取引費用	3, 257, 365
その他の費用	93, 079
費用合計	8, 135, 129
投資による純利益 / (損失)	(2, 594, 333)
純実現益 / (損)	
営業投資有価証券売却に係る	9, 877, 936
外国為替先渡契約に係る	(89, 544)
外国為替に係る	(1, 834, 261)
評価損益の純増減額	
営業投資有価証券に係る	42, 968, 501
外国為替先渡契約に係る	(11, 695)
運用に係る純資産の期中純増減額	48, 316, 604
設定による収入	171, 037, 916
解約に対する支出	(256, 073, 308)
設定・解約による純収入 / (支出)	(85, 035, 392)
期末純資産	415, 486, 902

2017年度末現在の投資スケジュール（米ドル建て）

数量	内容	時価総額	純資産に 占める 割合%
取引所上場が認められた有価証券と短期金融商品			
	株式		
1,612,400	AIA Group Limited	10,167,804	2.45
124,118	Alibaba Group Holding	13,510,244	3.25
24,471	Amorepacific Corp.	6,137,961	1.48
1,005,576	Arvind Mills Limited	6,116,145	1.47
252,967	Assoc Cement Company	5,633,365	1.35
9,866,700	Astra International Tbk PT	6,385,926	1.54
394,174	Avenue Supermarts Limited	3,871,928	0.93
2,445,933	Banco de Oro Unibank Inc.	5,732,700	1.38
6,586,900	Bank Central Asia Tbk Pt	8,180,350	1.97
1,186,700	Boc Aviation Limited	6,330,292	1.52
3,600,000	Brilliance China Automotive Holdings Limited	6,022,879	1.45
54,220	China Biologic Products Inc.	5,425,253	1.31
4,360,000	China Everbright International Limited	5,869,167	1.41
13,761,000	China Telecom Corp. Limited	6,711,931	1.61
4,936,000	CSPC Pharmaceutical Group Limited	6,466,678	1.55
131,687	Ctrip.com International Limited - ADR	6,543,527	1.57
381,600	DBS Group Holdings Limited	5,298,297	1.28
45,184	E-Mart Company Limited	8,303,018	2.00
19,891,900	Emperador Inc.	2,394,531	0.58
2,069,000	Galaxy Entertainment Group Limited	11,329,698	2.73
436,744	Glenmark Pharmaceuticals Limited	5,731,103	1.38
132,046	Godrej Consumer Products Limited	3,398,806	0.82
432,050	HDFC Bank Limited	9,715,210	2.33
688,000	HSBC Holdings plc	5,604,675	1.35
57,362	Hyundai Motor Company	8,078,753	1.94
1,798,118	Icici Bank Limited	7,666,258	1.85
4,242,000	IHH Healthcare Bhd	5,751,210	1.38
1,251,735	Indian Oil Corp. Limited	7,461,054	1.80
322,094	JD.com Inc. - ADR	10,165,287	2.45
788,170	Jiangsu Hengrui Medicine Company	6,223,730	1.50
207,803	Korea Electric Power Corp.	8,631,317	2.08
54,888	LG Innotek Company Limited	6,699,611	1.61
31,714	Mando Corp.	7,359,154	1.77
63,018	Maruti Suzuki India Limited	5,838,100	1.41
1,631,745	Midea Group Company Limited	7,897,464	1.90
1,330,000	Minth Group Limited	5,357,403	1.29
1,198,850	Narayana Hrudayalaya Limited**	5,794,390	1.40
7,880	NAVER Corp.	6,024,650	1.45
2,686,500	Ping An Insurance Group Company of China Limited	15,039,535	3.62
512,541	Reliance Industries Limited	10,426,037	2.51
1,845,300	Samsonite International SA	6,720,657	1.62

ダイワ／ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド

数量	内容	時価総額	純資産に 占める 割合%
9, 090	Samsung Electronics Company Limited	16, 744, 440	4. 03
536, 853	Samsung Engineering Company Limited	6, 168, 762	1. 48
1, 824, 000	Sands China Limited	8, 450, 563	2. 03
1, 091, 800	Semen Gresik Persero Tbk PT	737, 358	0. 18
194, 265	Shinhan Financial Group Company Limited	8, 095, 059	1. 95
913, 000	Standard Chartered Bank plc	8, 724, 198	2. 10
966, 958	Sunny Optical Technology Group Company Limited	7, 068, 288	1. 70
1, 008, 000	Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited	6, 278, 704	1. 51
956, 044	Tata Motors Limited	6, 858, 746	1. 65
18, 749, 600	Telekomunikasi Indonesia Tbk Pt	5, 810, 786	1. 40
567, 700	Tencent Holdings Limited	16, 277, 676	3. 92
8, 593, 600	Thai Beverage pcl	5, 781, 349	1. 39
7, 369, 000	Uni-President China Holdings Limited	5, 187, 453	1. 25
563, 037	United Phosphorus Limited	6, 302, 783	1. 52
1, 749, 365	Vedanta Limited	7, 407, 214	1. 78
180, 509	Yes Bank Limited	4, 299, 715	1. 03
	株式合計	412, 209, 192	99. 21
	取引所上場が認められた有価証券と短期金融商品の合計	412, 209, 192	99. 21
	営業投資有価証券時価評価額	412, 209, 192	99. 21
	現金（銀行当座貸越の差し引き後）	5, 333, 334	1. 28
	その他純負債	(2, 055, 624)	(0. 49)
	純資産総額	415, 486, 902	100. 00

** 流動性のない証券

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年 5 月22日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を14ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年11月23日から2018年 5 月22日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
723 国庫短期証券 2018/3/5	千円 220,001		千円
707 国庫短期証券 2017/12/11	130,001		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年 5 月22日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第8期（決算日 2017年12月11日）

（計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

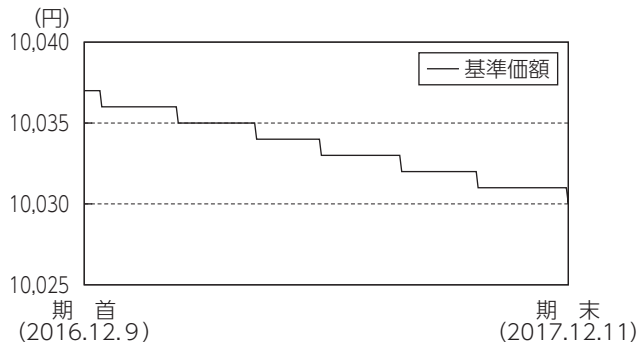
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	公 社 債 組 入 比 率
	円	%	%
(期首)2016年12月9日	10,037	—	29.1
12月末	10,036	△0.0	—
2017年1月末	10,036	△0.0	31.1
2月末	10,035	△0.0	25.2
3月末	10,035	△0.0	—
4月末	10,034	△0.0	35.6
5月末	10,034	△0.0	6.4
6月末	10,033	△0.0	0.6
7月末	10,033	△0.0	0.1
8月末	10,032	△0.0	—
9月末	10,032	△0.0	—
10月末	10,031	△0.1	—
11月末	10,031	△0.1	—
(期末)2017年12月11日	10,030	△0.1	—

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,030円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
国債証券	千円 116,573,085	千円 (128,940,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は四捨五入。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当 期			期		
買	付	銘	売	付	銘
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
645	国庫短期証券 2017/2/20	千円 17,010,400			千円
657	国庫短期証券 2017/4/17	10,150,199			
652	国庫短期証券 2017/3/27	9,790,078			
642	国庫短期証券 2017/2/6	9,700,144			
659	国庫短期証券 2017/4/24	9,120,282			
651	国庫短期証券 2017/3/21	7,630,194			
669	国庫短期証券 2017/6/12	6,970,248			
644	国庫短期証券 2017/5/12	6,690,300			
638	国庫短期証券 2017/1/16	5,120,041			
660	国庫短期証券 2017/5/1	4,590,081			

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は四捨五入。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	30,906,278	100.0
投資信託財産総額	30,906,278	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	30,906,278,899円
コール・ローン等	30,906,278,899
(B) 負債	799,000,000
未払解約金	799,000,000
(C) 純資産総額(A－B)	30,107,278,899
元本	30,015,878,475
次期繰越損益金	91,400,424
(D) 受益権総口数	30,015,878,475口
1万口当り基準価額(C／D)	10,030円

* 期首における元本額は42,294,564,193円、当期中における追加設定元本額は17,178,092,718円、同解約元本額は29,456,778,436円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド (為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド (為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレアセット・インド株式ファンド-インドの匠-29,910,270円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、US 短期高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック- (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,969,366,810円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス5,902,244,309円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ (2倍) 指数1,105,650,011円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインパース (-2倍) 指数821,890,786円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス6,073,206,032円、ダイワ上場投信-TOP I Xインパース (-1倍) 指数5,071,127,230円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス383,378,807円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス5,200,107,448円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス205,174,656円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ28,215,782円、ダイワ・ブルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ104,220,911円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ49,706,154円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネー

ポートフォリオ - S Lトレード-641,089,307円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の雄音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ206,680,116円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ126,940,913円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース (毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 4,981,569円、ダイワUS 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット亜細亜株式ファンド 9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ミドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 2,088,438円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 1,012,911円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ミドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 ミドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,030円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,002,641円
受取利息	△ 3,317,956
支払利息	△ 17,684,685
(B) 有価証券売買損益	△ 4,086
売買損	△ 4,086
(C) その他費用	△ 329,559
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 21,336,286
(E) 前期繰越損益金	155,223,882
(F) 解約差損益金	△ 99,854,368
(G) 追加信託差損益金	57,367,196
(H) 合計(D + E + F + G)	91,400,424
次期繰越損益金(H)	91,400,424

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。